



道青陵

【道青陵】第114号
令和7年7月31日
北海道教育大学
青陵会
(岩見沢校同窓会)
会長 砂川 昌之

題字 北海道教育大学岩見沢校元教授 藤根 信章 氏 校章 現旭川校教授 南部 正人 氏(昭和60年卒業)

【令和七年度 新年度のご挨拶】

北海道教育大学青陵会 会長 砂川 昌之



会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
青陵会の令和七年度の活動がスタートしています。

昨年、会長の大役を拝命し、早一年が経ちました。この間、皆様の温かいご理解とご協力に支えられながら、より時代に即した魅力ある同窓会を目指し、活動のあり方を見直してまいりました。改めて心より感謝申し上げます。

各支部においても新たな発想で活動を進められており、大変心強く感じております。いくつかの支部会にお招きいただいた際には、活発な意見交換の中から、それぞれの地域で熱心に活動されている姿に感銘を受けました。本部としまして、皆様と一層連携を深め、各支部の活動を力強く後押ししてまいります。

さて、今年度、本部が特に力を入れていくのは「学生との連携強化」です。未来を担う後輩たちの活動を支援し、世代を超えた交流を育むことは、青陵会の新たな活力になると確信しております。

先般の五月の総会では、後輩である学生の皆さんから「学生活動支援金」を活用した取組やサークル活動について、生き生きとした報告がありました。来る十月の「道青陵のつどい」では、さらに多くの会員の皆様に彼らの活躍を知っていただくため、活動報告の場を設けるほか、音楽文化専攻の皆さんによる素晴らしいコンサートも企画しております。どうぞご期待ください。

もう一つの新しい試みが、公式ホームページのリニューアルです。会員の誰もが気軽に情報を発信・共有できるブログ形式とし、皆様の交流のハブとなることを目指しています。母校や岩見沢、空知の近況、同期会の告知、ご自身の活動報告など、どんな内容でも大歓迎です。ぜひ、新しいホームページにアクセスし、皆様の声をお寄せください。

今年度は、これらの新しい取り組みを本格的に始動させる、いわば「新生・青陵会」のスタートの年です。会員の皆様一人ひとりが主役となり、共に楽しめる同窓会を築いてまいりたいと存じます。引き続き、皆様の温かいご支援と積極的なご参加を心よりお願い申し上げます。

北海道教育大学青陵会 北海道教育大学岩見沢校 同窓会 ホームページのご案内

★R7.3に開設された新しいホームページです

★活動の近況や同窓生からの声をブログで発信します

★右のQRコードから閲覧ください <https://seiryouskr.jp/seiryou/>



令和6年度会務報告

【事務局活動報告】

1. 母校の充実と学生への支援活動

- ・「学生活動支援基金」による学生活動の支援を行いました。

2. 同窓会活動の活性化

- ・会員の減少に対応すべく、教員以外の卒業生の把握と、同窓会への加入促進を進めました。

3. 資質の向上に向けた取組

- ・教員以外の同窓生や学生にも参加の幅を広げた「道青陵のつどい」を開催しました。

4. 母校との連携

- ・学生活動の金銭的な支援や、教員希望者対象の学習会や教育相談を行いました。

5. 広報活動の充実

- ・会員の声を大切にしながら、広報誌113号を発行しました。

6. 財政基盤の強化

- ・「卒業生全員が青陵会員」の認識のもと、同窓会費の納入率向上を図りました。

7. 北海道教育大学5校同窓会長等会議

- ・令和6年度は青陵会が担当し、集会形式での会議を開催しました。

8. 教育行政への働きかけ

- ・専門的教職員を志望する会員のため教育行政との連携を図りました。

【各部の活動報告】

【令和6年度 総務部 業務報告】

- ・総会、及び各種会議の案内・準備
- ・関係機関への年賀じまいのあいさつ
- ・同窓会加入活動業務
- ・会務運営に関する補完業務

【令和6年度 研修部 業務報告】

- ・会員研修の充実(道青陵のつどい開催)
- ・学校管理職研修、一般研修の工夫改善
- ・専門的教育職員受検者の把握
- ・情報提供など各支部との連携

【令和6年度 会員・組織部 業務報告】

- ・青陵名簿データの収集、整理
- ・HP入会フォームの活用推進
- ・組織実態調査の準備(R6は未実施)
- ・業務分担と業務の効率化

【令和6年度 広報・情報発信部 業務報告】

- ・広報誌作成における情報収集
- ・広報誌の作成(113号発行)
- ・広報誌のデジタル化とHPでの公開
- ・HPによる広報活動の推進

【令和6年度 大学連携部 業務報告】

- ・学生活動支援
- ・学生との関係づくりの促進
- ・新規卒業生の同窓会加入促進
- ・学生幹事会との情報交流



令和7年度活動方針

【事務局活動報告】

1. 母校の教育活動と教職員志望学生への支援活動

- ・各種支援とともに、本会や母校の活動を広く情報発信します。

2. 同窓会活動の活性化(組織改善・充実)

- ・各支部の創意ある活動を支援し、本道教育の振興に寄与する活動を進めます。
- ・「公務員・民間部会」を支援し、併せて退職会員との連携を図ります。
- ・次代を担うリーダーの養成、候補者の発掘に取り組みます。
- ・同窓会の在り方について、最終答申の具体化を促進します。

3. 母校との連携

- ・後輩の育成に関わる支援(教員採用・各学科の教育活動)や協力を行います。
- ・「学生活動支援基金」の効率的な運用を行います。
- ・大学教員、大学本部との情報交流を行います。

4. 財政基盤の強化と会員の確保

- ・学生支援を積極的に行い、同窓会への理解を図る取組を進めます。
- ・大学卒業式、入学式での同窓会活動の周知や、同窓会費納入の取組を進めます。

5. 研究の充実のための活動

- ・会員が一堂に会し情報交換や親睦を深める機会として「道青陵のつどい」の充実を図ります。
- ・「学生活動基金」の活用に関する報告会を「道青陵の集い」とタイアップします。
- ・各支部の研究活動の充実に向けて、メール等による活動を推進します。
- ・各支部の要請に基づき、講師派遣及び資料の提供を行います。

6. 広報活動の充実

- ・会報の発行とHPでのタイムリーな情報発信を行い、同窓会組織の充実を図ります。
- ・退職した会員及び新会員に会報「道青陵」を送付し、HPに公開します。

7. 教育行政への積極的参加

- ・指導主事及び社会教育主事などの専門的教育職員を育成します。

【各部の活動報告】

【令和7年度 総務部 業務計画】

- ・総会及び各種会議、つどいへの協力
- ・学位授与式等における同窓会加入活動
- ・会務運営に関する補完業務

【令和7年度 研修部 業務計画】

- ・「道青陵のつどい」の充実と工夫改善
- ・学校管理職研修、一般研修の実施と支援
- ・専門的教育職員受検者の育成

【令和7年度 会員・組織部 業務計画】

- ・青陵名簿データの収集、年次毎の整理
- ・HP入会フォームの活用推進
- ・業務分担と業務の効率化の推進

【令和7年度 広報・情報発信部 業務計画】

- ・広報誌作成(114号・115号発行)
- ・広報誌のデジタル化と発行周知
- ・HPによる広報活動の推進とブログ更新

【令和7年度 大学連携部 業務計画】

- ・母校の学生活動の支援(学生活動支援事業説明会の開催・支援金対象団体の精査)
- ・母校学生幹事会、各専攻との情報交流(現役学生の「道青陵の集い」参加の促進)
- ・新規卒業生の同窓会加入促進



令和7年5月24日(土)、岩見沢平安閣において北海道教育大学青陵会の総会が開催されました。各支部代表が集う中、令和6年度の会務報告、監査報告に引き続き、令和7年度の活動方針と各部の活動計画が示されています。総会の後には懇親会が開かれ、顧問の佐藤恵三様からは、青陵会の名前の由来が熱く語られる場面もあり、参加者それぞれが大学時代を懐かしむひと時となりました。

令和7年度

北海道教育大学青陵会

支部長・事務局長一覧

令和7年7月31日 現在

支部名	支部長	事務局長
札幌	関 敏 明	田 中 義 直
石狩	澁 谷 拓	細 田 幸 男
後志	島 朋 朗	佐々木 淳
小樽	及 川 年 彦	
上川	鈴 木 一 朗	井 上 真 吉
宗谷	畑 慎 司	
留萌	豊 崎 東 洋	阿 部 雅 紀
桧山	草間 留美子	草間 留美子
渡島	浅 野 友 善	
空知	中 嶋 利 啓	悪 七 広 仁
胆振	大 熊 龍 也	
日高	玉 手 広 昭	片 桐 伸 哉
帯広・十勝	阿 部 英 一	
釧路		
根室	佐 野 達 也	
オホーツク	水 野 利 之	落 合 利 広
高 特 大	二階堂 洋子	
指導主事	因 雅 仁	新 栄 裕
社教主事	川 森 功 偉	
公務員・民間	松 浦 靖 高	

令和7年度

北海道教育大学青陵会

役員一覧

令和7年7月31日 現在

役職	氏名	役職	氏名
名誉顧問	笠井端昭	会計	野村知史
	藤原光成		内田雅博
	今井信義	総務部長	三好孝央
	大森啓司	副部長	小林 広
	安孫子章平		後藤淳志
	根津 孝	部員	樽石哲也
顧問	佐藤恵三		澤田康二
	早瀬公平	研修部長	江幡佳代
参与	荒川 巖	副部長	渡邊 現
	高島康範		杉島亜紀
	高木勇一	部員	木下浩太
	東志 昇		吉本忠司
会長	砂川昌之	会員組織部長	疋田博和
副会長	小関文雄	副部長	尾見秀樹
	藤田祐二		長崎卓也
	松浦靖高	部員	箕田 裕
	中嶋利啓		飯塚博明
(札幌)	星野誠一	広報情報部長	一ノ瀬健太郎
(石狩)	若林公一	副部長	渋谷 憲一
(一区)	島 朋郎		小野寺英樹
(二区)	倉本格克	部員	澤 泰宏
(三区)	浅野友善		作田 稔
(四区)	大熊龍也	大学連携部長	曾根秀彰
(五区)	小田良秀	副部長	三國 均
(高特大)	山下秀樹		小林大助
(指導社教)	竹見 純	部員	高田茂樹
理事長	三浦新一郎		上羽愛子
副理事長	小野篤夫	監査	松本伸彦
	島 恵二		高羅正次
			出口哲也

令和6年度 北海道教育大学青陵会 学生生活活動支援基金 活動報告会

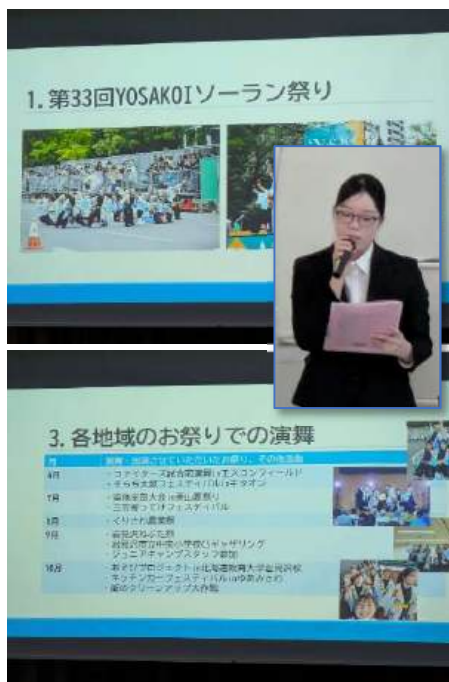
昨年度は、青陵会の「学生生活活動支援基金」として3団体に対し支援金を贈呈しました。総会に合わせて、それぞれの団体による活動報告が行われ、各団体からスライドを使った説明がありました。各種活動に加え、地域貢献事業や子どもたちの育成事業など幅広い活動の様子が伺え、参加者からは学生の発表に感動したとの声が寄せられました。

本会では今年度も、母校の各種団体に対する支援を継続します。

【北海道教育大学岩見沢校
音楽文化専攻 演奏会活動】



【北海道教育大学岩見沢校
YOSAKOI「迅」】



【北海道教育大学岩見沢校
サッカー部】



令和7年度「学生生活活動支援事業説明会」を行いました

7月23日(水)、岩見沢校において、今年度の学生生活活動支援事業に関わる説明会を行いました。今年度は、4団体から8名の学生の参加がありました。

今後、申請書を受け付け、10月18日(土)「道青陵のつどい」で贈呈式を行う予定です。

学生の皆さんが、地域への貢献や岩見沢校の活性化のために活躍してくれることを、大いに期待しています。【大学連携部】



令和7年度「道青陵のつどい」

今年度の「道青陵のつどい」の実施に向けて準備を進めています。今後、改めてチラシ等でお知らせします。皆様の参加を、心よりお待ちしております。

◎日時:令和7年10月18日(土)

・14:00 受付

入場無料

・14:20 開会 【16:00 終了予定】

◎場所:北海道教育大学 岩見沢校

◎内容1:学生生活活動支援事業

・支援を受けた団体からの活動報告

内容2:音楽文化専攻の

学生によるミニコンサート

※「道青陵のつどい」終了後、引き続き、大学の食堂で懇親会を行います。

・参加費:2,500円(現役大学生の参加は無料)

※事前の参加申込みが必要ですが、当日の参加でも大歓迎です。